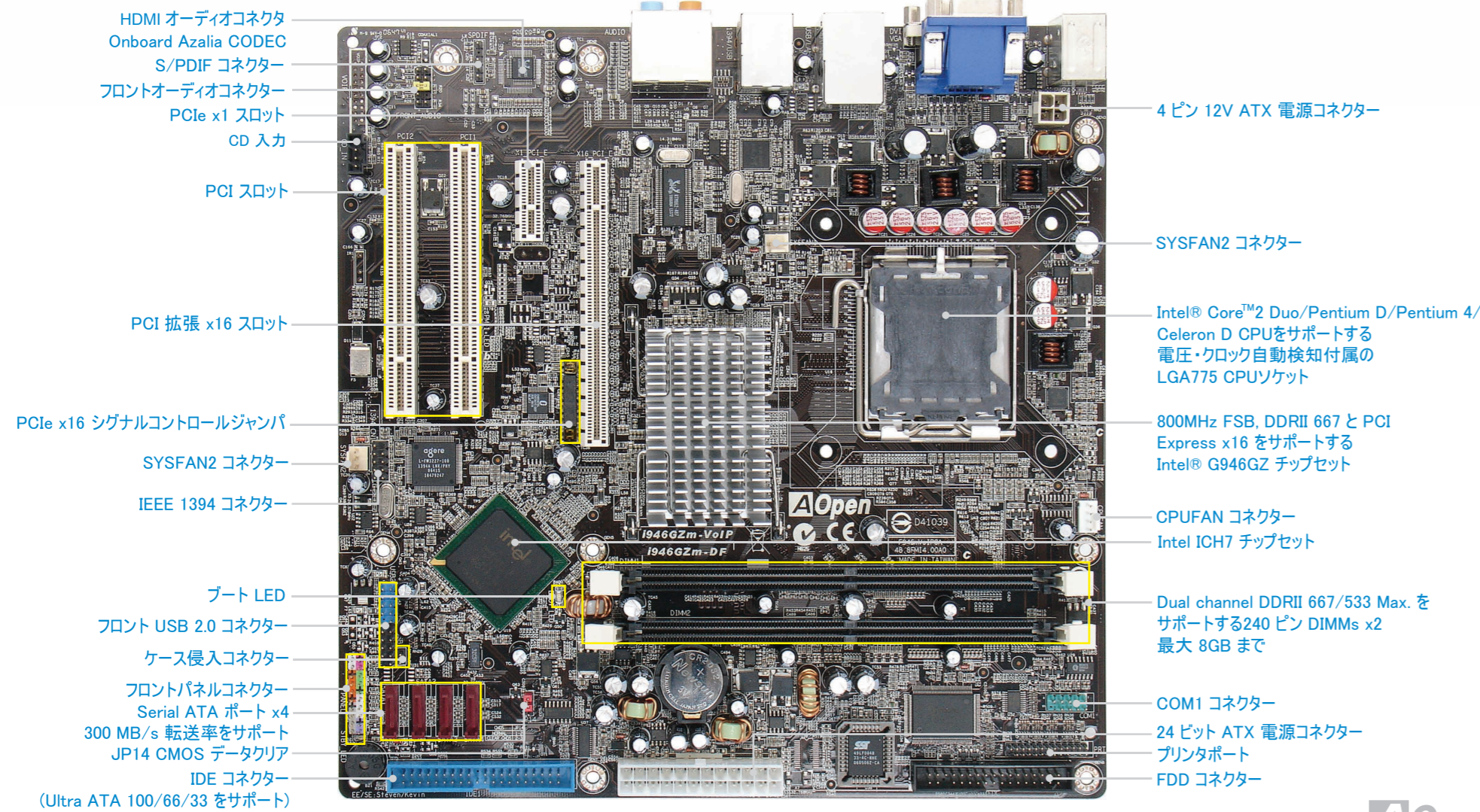
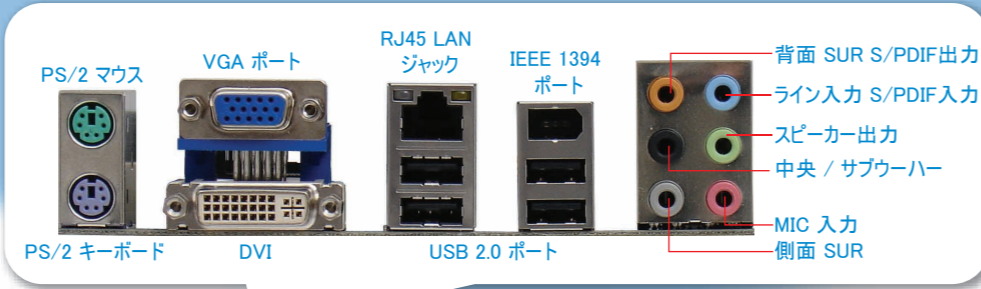


i946GZm-DF

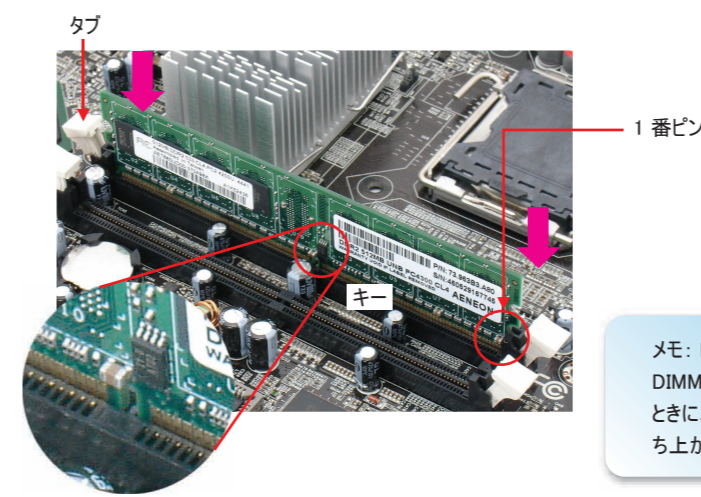


AOpen は本文書に含まれる全ての仕様と情報を改訂する権利を留保しており、通知なしに変更を加えることがあります。



3. メモリーモジュールをインストールする

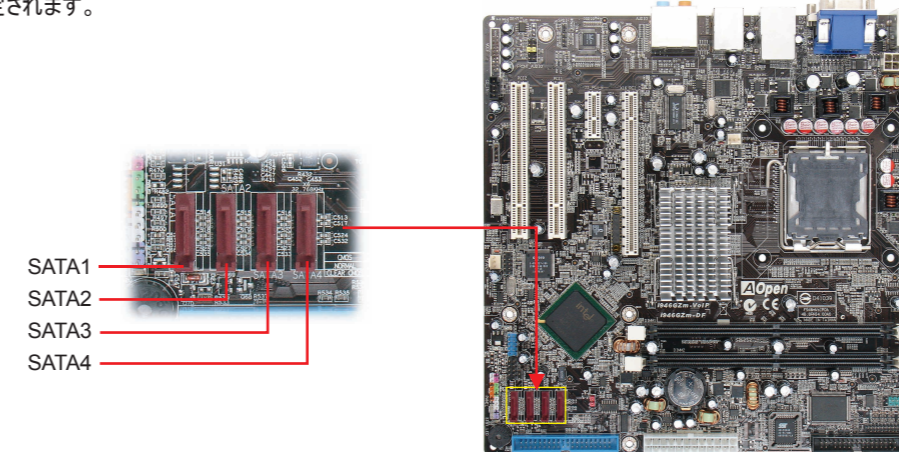
区別しやすいように、DIMM スロットは黒色とネイビーブルーに設計されています。モジュールを両手でまっすぐに DIMM スロットに挿入し、DIMM モジュールがしっかりと固定されるまで押し込んでください。



メモ: DIMM スロットのタブは DIMM がスロットの底部に接触したときに、DIMM を固定するために持ち上げられます。

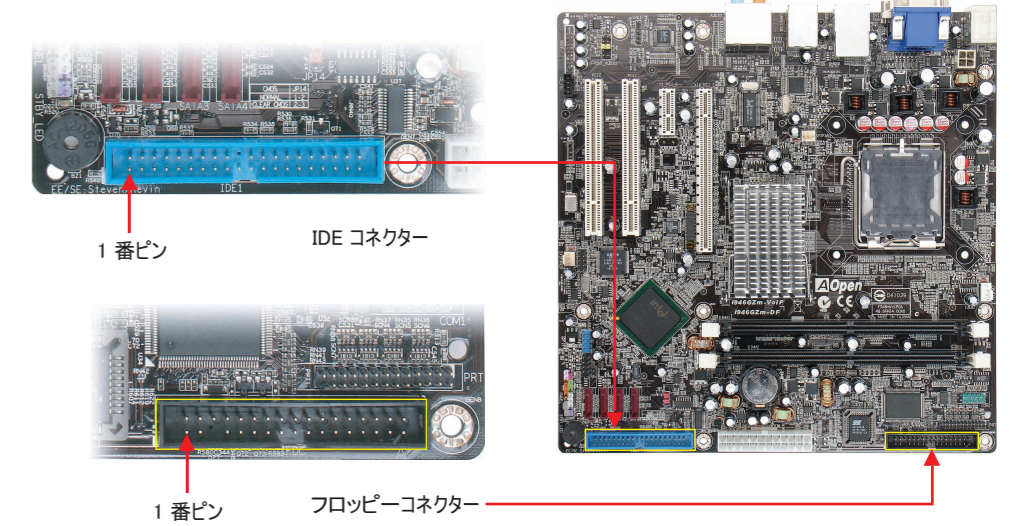
4. SATA と HDD ケーブルを接続する

Serial ATA ディスクに接続するためには、7ピンの Serial ATA ケーブルが必要です。Serial ATA ケーブルをマザーボードの Serial ATA ヘッダーとディスクの両方に接続します。従来のディスクのように、電源ケーブルに接続する必要があります。ジャンプリーの場合は、マスターやスレーブディスクを定義するためにジャンプの設定をする必要はありませんので、ご注意ください。Serial ATA ハードディスクが Serial ATA ポートにインストールされている場合、SATA1 に接続されている側が最初にブートされるデバイスとして自動的に設定されます。



5. IDE / フロッピーケーブルを接続する

40 ピン, 80 ワイヤ IDE ケーブルを IDE コネクターに接続し, 34 ピンフロッピーケーブルをフロッピーコネクターに接続します。1番ピンに向きに注意してください。向きを間違えるとシステム損傷の原因になります。



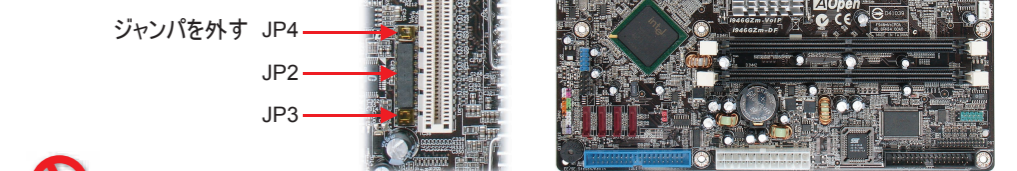
6. PCIe x16 シグナルコントロールジャンパ設定

i946GZm-DF は、当マザーボード上の最新の PCI Express x 16 仕様をサポートする PCI Express x 16 グラフィックス・スロットを提供しています。PCI Express x 16 は、高性能 3D グラフィックスを対象にしたハイエンドインターフェイスです。

ジャンパ設定

ジャンパ	JP2	JP3	JP4
機能	ON	ON	ON
PCIe x16	OFF	OFF	OFF

PCIe x16 シグナルコントロールジャンパ



警告: PCI Express x16 グラフィックスカードを使用すると、PCI Express x16 スロットの側にあるジャンパを外す必要があります。ジャンパを外さないで、システムは不安定になる可能性があります。

はじめに

当マザーボードを起動させるために必要なものはこの簡単組み立てガイドに含まれています。詳細はボーナスパック CD にあるオンライン・ユーザーズ・マニュアルをご覧ください。地球を救うための皆様のご援助に感謝致します。

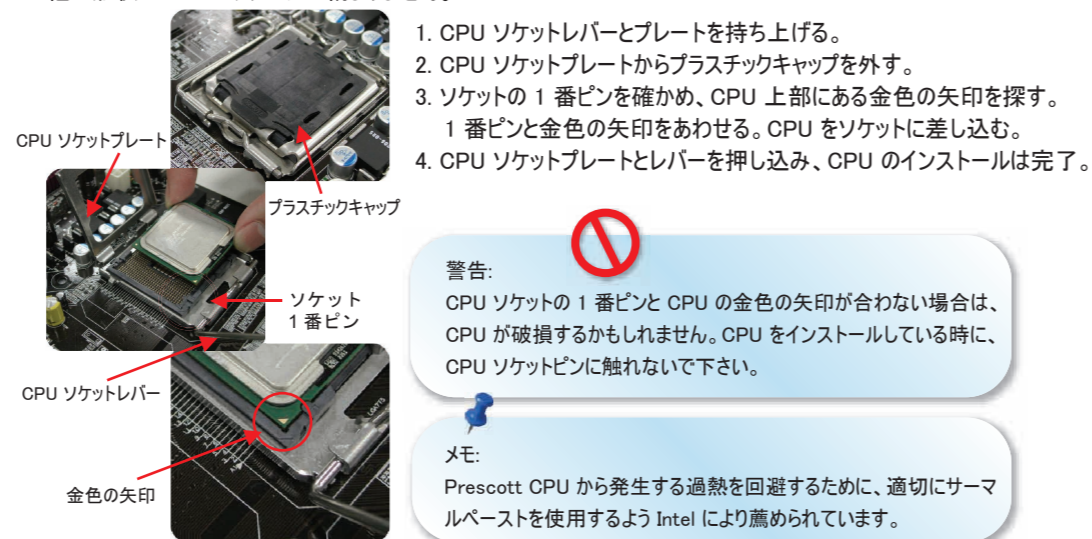
アクセサリ・チェックリスト

- 1 x SATA ケーブル
- 1 x SATA 電源ケーブル
- 1 x フロッピーケーブル
- 1 x IDEケーブル
- 1 x 簡単組み立てガイド
- 1 x ボーナ CD
- 1 x I/O ブラケット
- 1 x ユーザーズ・マニュアル



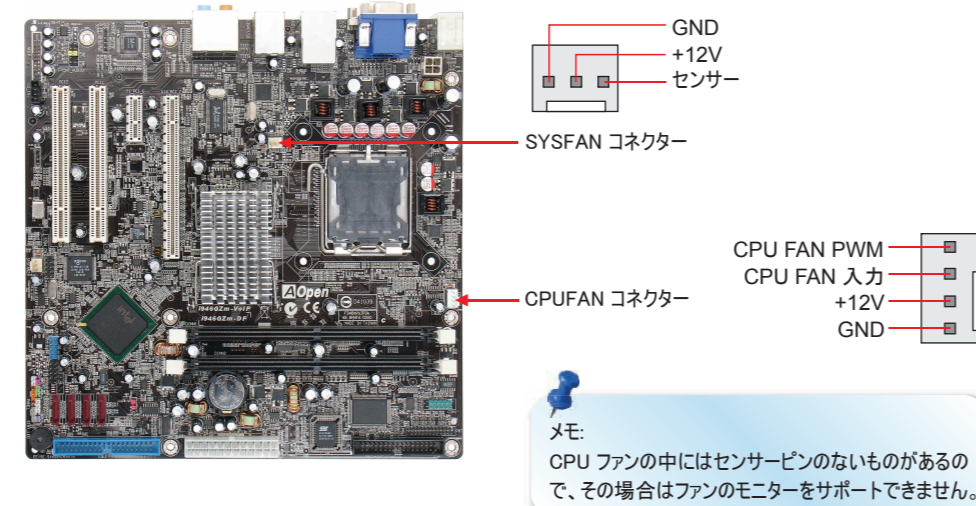
1. CPU をインストールする

このソケットは Intel によって開発された最新の CPU パッケージである LGA-775 CPU をサポートしています。他の形状の CPU パッケージは納まりません。



2. CPU と システムファンをインストールする

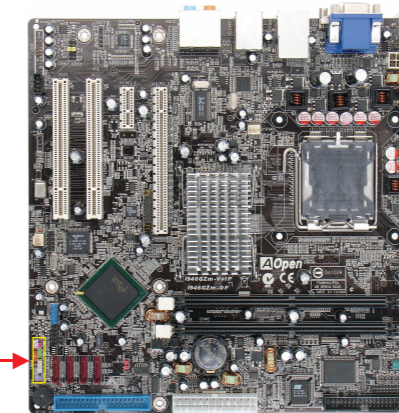
CPU ファンケーブルを4品 CPUFAN コネクターに接続します。もしケースにファンがあれば、SYSFAN1 あるいはコネクターを接続できます。



7. パネルケーブルから接続する

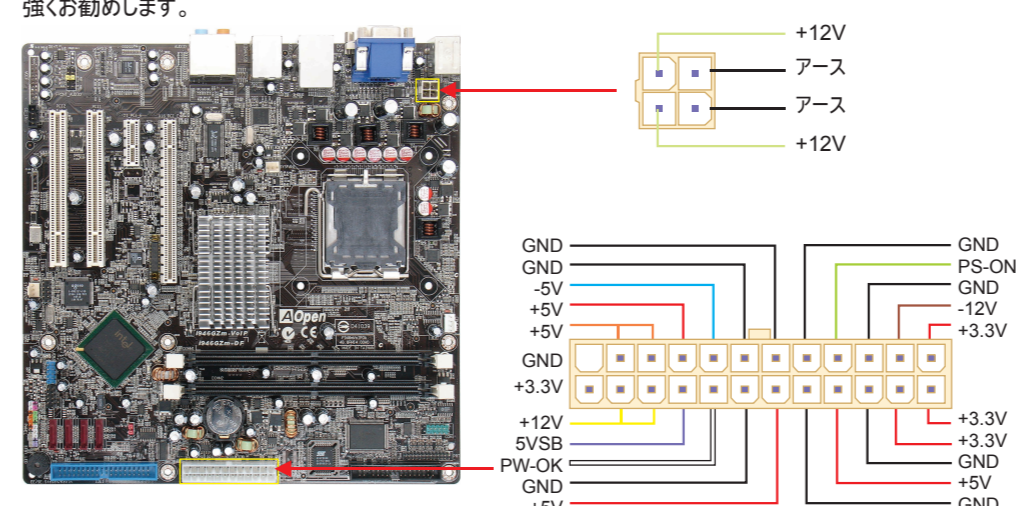
電源 LED、スピーカー、リセットスイッチコネクターを対応するピンに取り付けます。BIOS 設定の“サスペンドモード”の項目を有効にすると、システムがサスペンドモードになっている間、ACPI と電源 LED が点滅します。ATX ケースの電源スイッチケーブルを確認してください。ケースのフロントパネルの 2ピンのメスのコネクターです。このコネクターを SPWR と記されたソフトパワースイッチコネクターに接続します。

- NC
- +5V
- HDD LED
- HDD LED
- +5V
- +5V
- GND
- NC
- リセット
- スピーカー
- 電源スイッチ
- GND
- 電源 LED -
- GND
- 電源 LED +
- NC
- GND
- GND
- GND
- GND



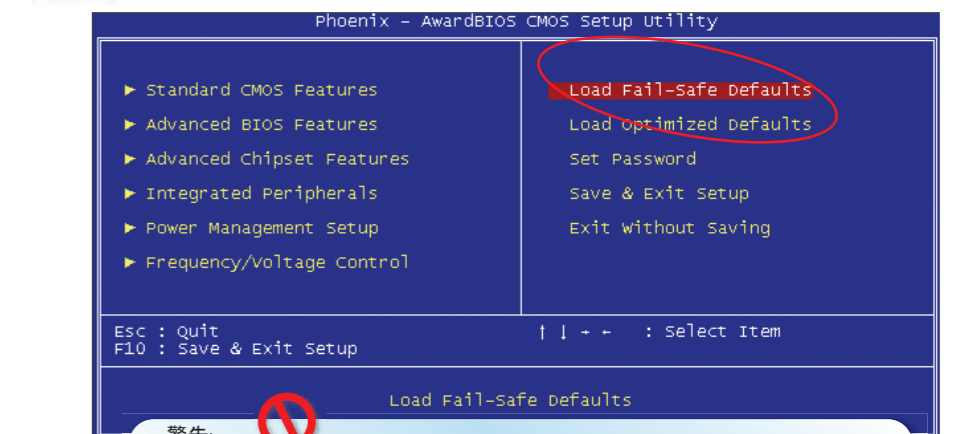
8. ATX 電源ケーブルを接続する

当マザーボードには下に示されているように、24 ピンと 4 ピンの ATX 電源コネクターがあります。正しい向きで差し込んでください。24 ピンコネクターを差し込む前に 4 ピンコネクターを差し込んでおかれることを強くお勧めします。



9. 電源投入と BIOS 設定を起動する

ジャンパの設定を終えてから正しいケーブルを接続してください。電源を投入し、BIOS 設定に入ります。POST (パワーオン・セルフテスト) 画面の間、 キーを押してください。推奨のオプションパフォーマンスのために “Load Fail-Safe Defaults” を選択します。



警告: お使いのシステムコンポーネント (CPU, RAM, HDD, etc.) が、ターボ設定に適しているとはっきり分らない限り、“Load Optimized Defaults” のご使用は避けてください。

10. AOpen ボーナパック CD

ボーナス CD のオートランメニューをお使いください。左側のアイコンからユーティリティとドライバーを選択します。それから “Go” ボタンをクリックして、インストールが自動的に完了します。



CPU 電圧とクロック数の設定

CPU コア電圧の設定
当マザーボードは電圧 ID (VID) 機能で電源オン時に CPU 電圧の自動検出が可能です。

CPU クロック数の設定
当マザーボードはCPUジャンパレス設計なので、CPUクロック設定はBIOSの1MHzずつのCPUオーバークロック機能から行います。CPUコアクロック= CPU FSBクロック× CPUレシオ。ただし、現在市場に流通するCPUは“倍率固定”、すなわちユーザーによるCPUレシオは調節不可能で、オーバークロックにはCPU FSBクロックのみが調節可能です。
(オーバークロックは自己責任の元行って頂きますようお願いいたします!!)

BIOS 設定 > クロック / 電圧制御 > CPU スピード設定					
CPU レシオ	8x, 10x, 24x, 25x, 26x, 27x, 28x				
CPU FSB (マニュアル調整)	FSB = 100MHz~400MHz, 1MHz ずつの CPU オーバークロックによる				
プロセッサ番号	設計	クロック速度			
Core 2 Duo E4300	65nm Conroe	1.80Ghz	800Mhz	2MB	9
Pentium D 960	65nm Presler	3.60Ghz	800Mhz	4MB	18
Pentium D 950	65nm Presler	3.40Ghz	800Mhz	4MB	17
Pentium D 945	65nm Presler	3.40Ghz	800Mhz	4MB	17
Pentium D 935	65nm Presler	3.20Ghz	800Mhz	4MB	16
Pentium D 925	65nm Presler	3.00Ghz	800Mhz	4MB	15
Pentium D 915	65nm Presler	2.80Ghz	800Mhz	4MB	14
Pentium D 820	90nm Smithfield	2.80Ghz	800Mhz	2MB	14
Pentium D 805	90nm Smithfield	2.66Ghz	533Mhz	2MB	16

メモ: CPU のスピードは急速に変化するため、このインストラクションガイドを手元にされる時点では、より高速の CPU があるかもしれません。この表は参照のためのものです。

メモ: CPU ファンの中にはセンサーピンのないものがあるので、その場合はファンのモニターをサポートできません。

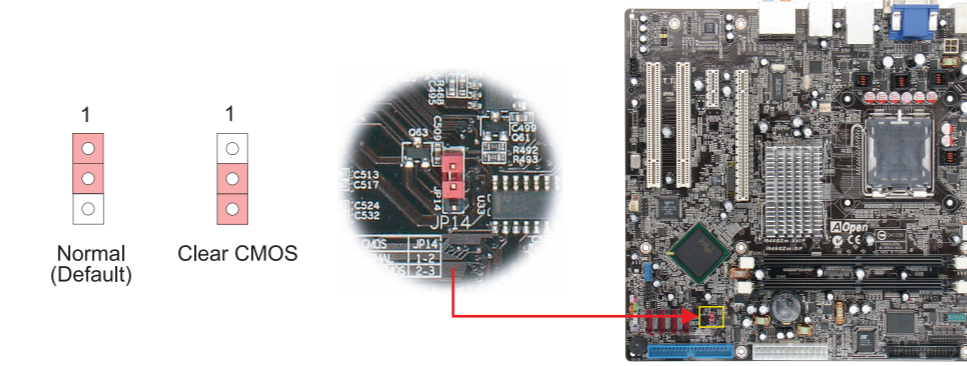
メモ: LGA 775 CPU. LGA 775 をサポートする Intel 946GZ チップセットは自動的にクロックレシオを検出するため、BIOS の中では手動でクロックレシオを調整できないかもしれません。

警告: Intel 946GZ チップセットは最大800MHz (200MHz×4) システムバスをサポートしています。クロック設定を高くすると深刻なシステム損傷を起こすかもしれません。

JP14 CMOS データクリアー

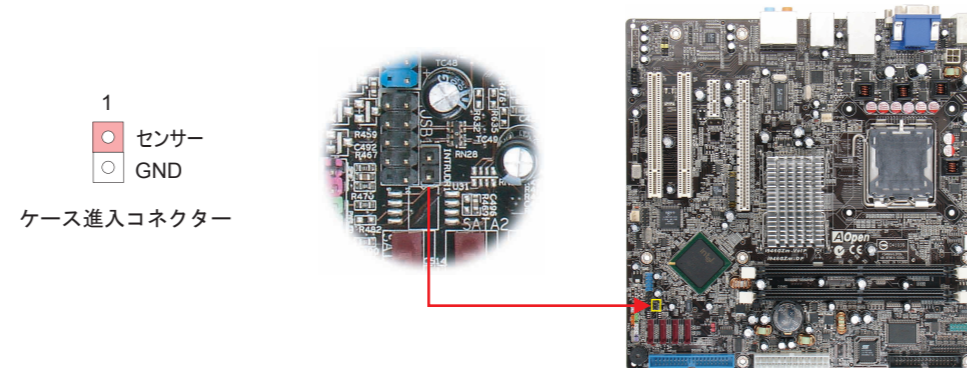
CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法でCMOSをクリアします。

1. システムをオフにし、ACコードを抜きます。
2. コネクタPWR3からATX電源ケーブルを外します。
3. JP14の位置を確認し、2-3番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14を通常動作時の1-2ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタPWR3に挿します。



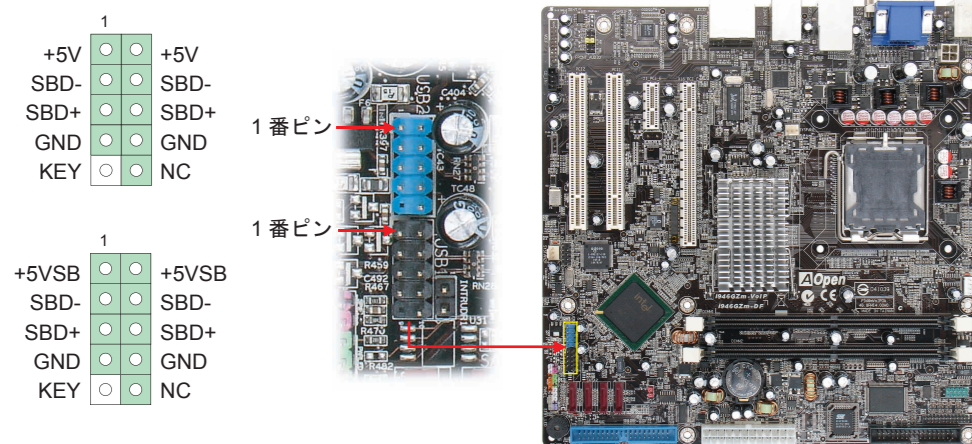
Case Open “ケース侵入”を接続する

“Case Open” ヘッダーはケース侵入の監視機能を提供しています。この機能を有効にするために、システム BIOS の中で有効にする必要があります。それからこのヘッダーをケースのセンサーに接続します。ケースを開くとセンサーが作動するので、システムがピープ音を出し、知らせます。この役立つ機能は高度なケースにのみ適用できます。余分なセンサーを購入し、ご自分のケースに接続してこの機能をご利用ください。



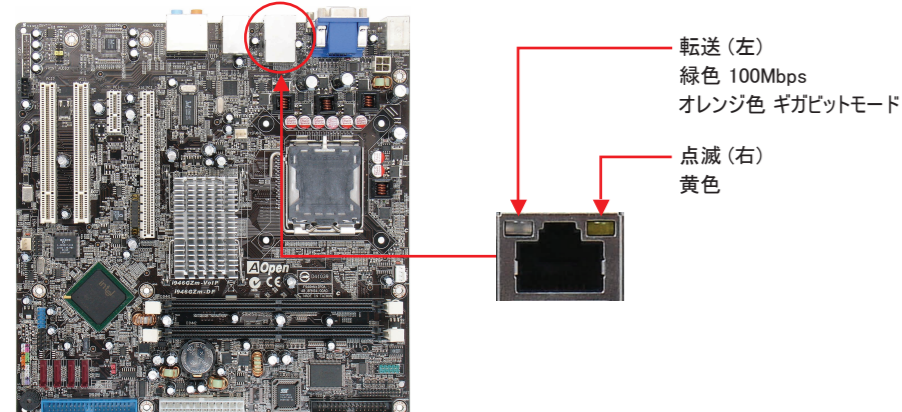
USB 2.0 コネクタ

当マザーボードは、マウス、キーボード、モデム、プリンターなどの USB デバイスを接続するために8つの USB 2.0 ポートを提供しています。後部パネルに4つあります。フロント USB コネクタを USB モジュールやケースのフロントパネルに接続するには適切なケーブルをお使いください。



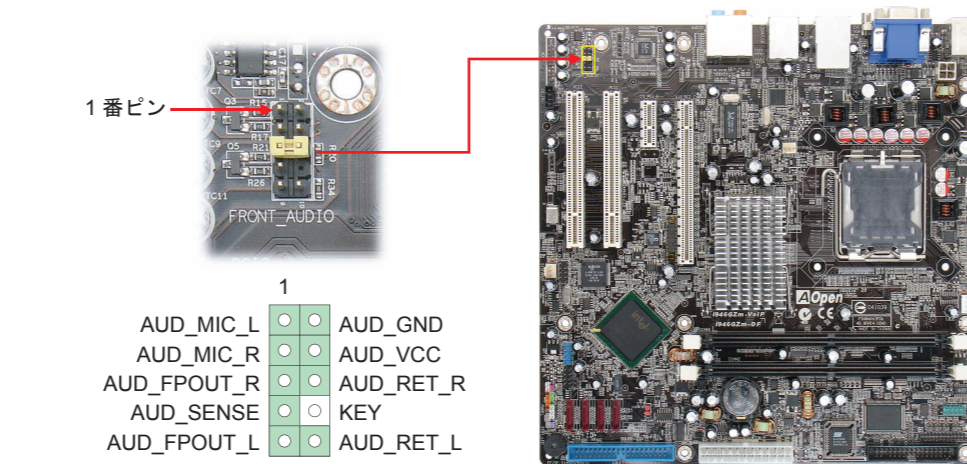
Gigabit LAN オンボード

ボード上のGigabit LANコントローラーの強度については、当マザーボードはオフィスと家庭の用途のために10/100/1000Mbps Ethernetを提供しています。Ethernet RJ45コネクタはUSBコネクタのトップに位置しています。右側のLEDはリンクモードを示していて、ネットワークとリンクされていると黄色に点灯します。左側のLEDは転送モードを示していて、データが100Mbps (10Mbps だと点灯しない)で転送されていると緑に点灯します。しかしギガビットモードで転送されているとオレンジに点灯します。この機能をオン/オフするにはBIOSを通して調整してください。



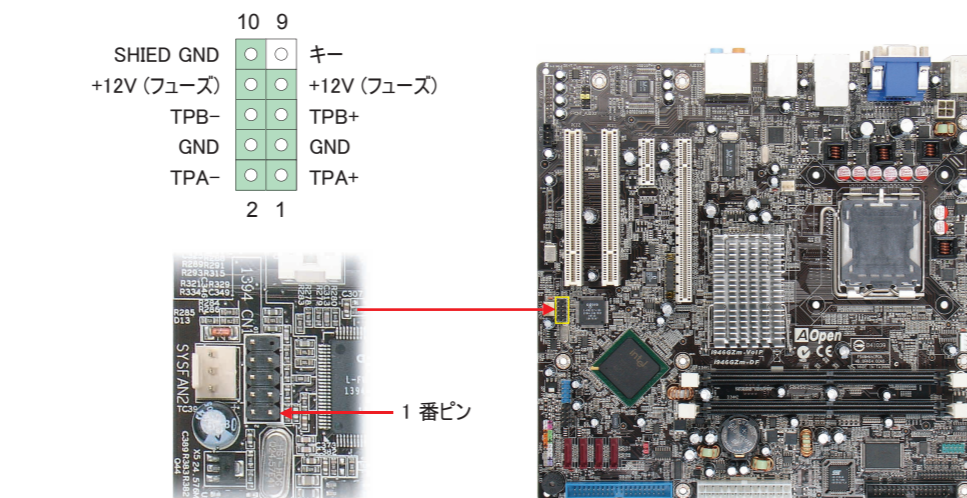
フロントオーディオコネクタ

もしケースのフロントパネルにオーディオポートが付いている場合は、このコネクタを通してオンボードオーディオをフロントパネルに接続できます。ケーブルに接続する前にフロントオーディオコネクタから5-6 と 9-10ジャンパーキャップを外しておいてください。お手持ちのケースの前面パネルにオーディオポートがない場合は、5-6 と9-10の黄色のジャンパーキャップは外さないでください。



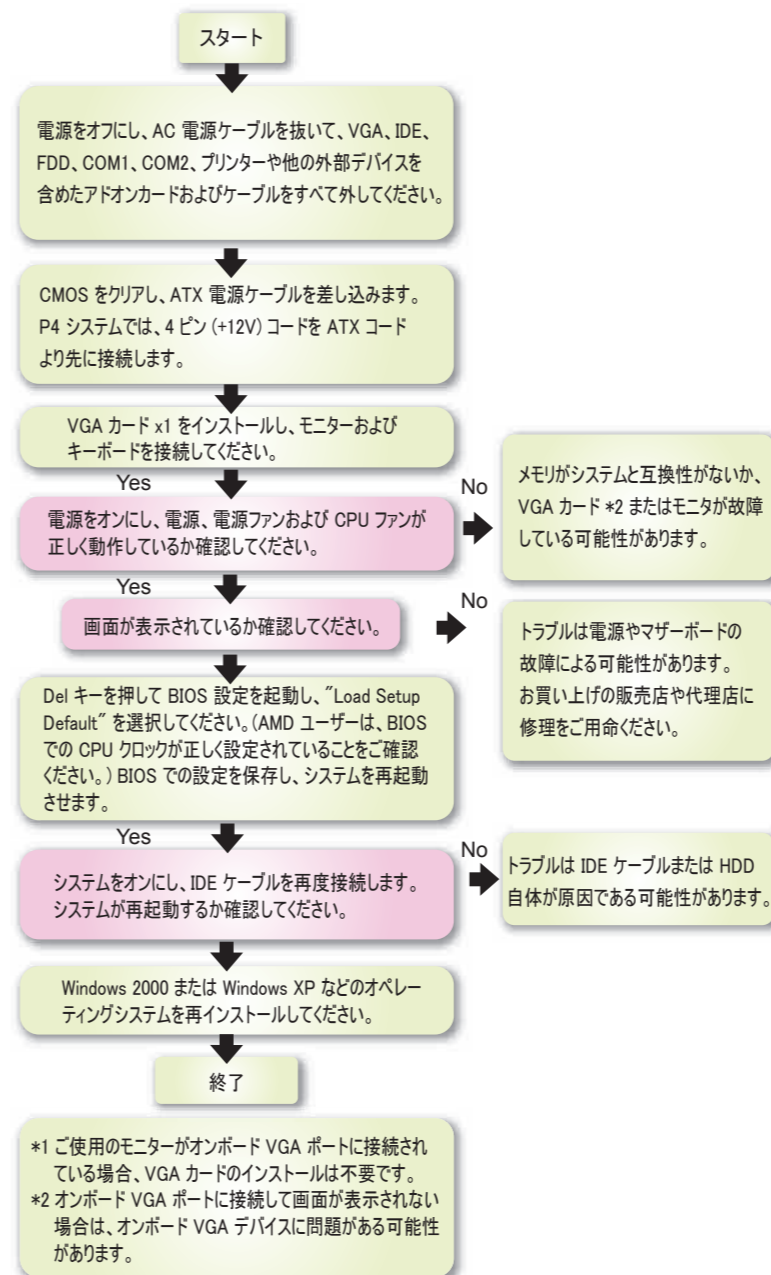
1394 に接続する

400Mb/s までのデータ転送率を持つボード (AGERE 1394) 上の IEEE1394 チップにより、このインターフェイスは、デジタルカメラ、スキャナーおよび他の IEEE 1394 デバイスなどの高速データ転送を必要とするデバイスに接続できます。IEEE1394 デバイスに接続するために適切なケーブルをお使いください。



トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



メモリがシステムと互換性がないか、VGA カード *2 またはモニタが故障している可能性があります。

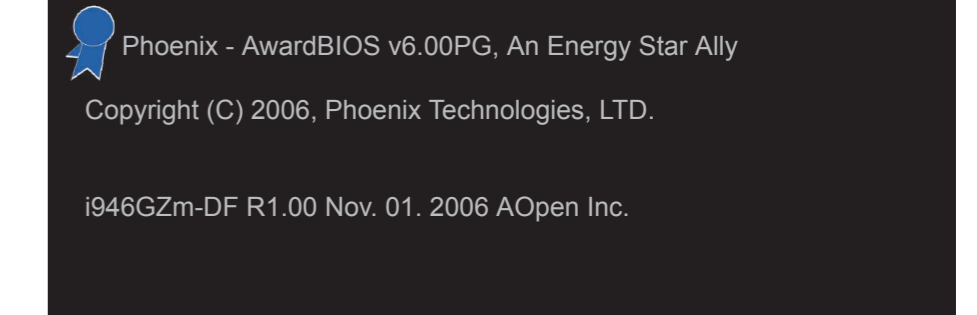
トラブルは電源やマザーボードの故障による可能性があります。お買い上げの販売店や代理店に修理をご用ください。

トラブルは IDE ケーブルまたは HDD 自体が原因である可能性があります。

*1 ご使用のモニターがオンボード VGA ポートに接続されている場合、VGA カードのインストールは不要です。
*2 オンボード VGA ポートに接続して画面が表示されない場合は、オンボード VGA デバイスに問題がある可能性があります。

型式名および BIOS バージョン

型式名およびBIOSバージョンは最初の起動画面(POST画面)の左上に表示されます。以下が一例です。



I946GZm-DF はマザーボードの型式名で、R1.00 は BIOS バージョンです。

お買い上げのマザーボードの登録

AOpen 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。お買い上げのマザーボードは <http://club.aopen.com.tw/productreg/> から登録いただけますと、Club AOpenのゴールドメンバーとなり、AOpenからの質の高いサービスが優先的にご利用いただけます。また、スロットマシンゲームに参加してAOpenからの景品獲得もできます。登録の際には下記の情報をご用意ください。形式名、パーツ番号 (P/N)、シリアル番号(S/N) およびお買上げ日。パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。バーコードはパッケージ外側またはPCBのコンポーネント側に付いています。



P/N: 91.88110.201 はパーツ No, S/N: 91949378KN73 は Serial No です。

Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ	
エラー音	メッセージ
1 回短く (-)	システムのブートが正常
1 回長く - 1 回短く (- -)	DRAM エラー
1 回長く - 2 回短く (- - -)	ディスプレイカードかモニターの接続エラー
1 回長く - 3 回短く (- - - -)	キーボードエラー
長いエラー音が継続 (- - - - -)	DRAM が正しく装着されていない

テクニカルサポート

ユーザーの皆様へ

AOpen製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。製品を <http://www.aopen.com> で登録されると、Club AOpenのゴールドメンバーとなり、以後の質の高いサービスをご利用いただけます。ユーザーの皆様は質の高いサービスを継続的に提供するため以下の手順をご参考になり、お買上げ地域にある当社の支社からのサポートをお受けください。ユーザーの皆様のご協力により、効率的かつ最良のサービスが皆様にご提供させていただきます。

ご理解に感謝いたします。

ヘルプデスクへのお問い合わせ

- 1 問題が解決できない場合は、<http://aopen.jp/scripts/support.asp> よりお問い合わせください。また、ファックスでのお問い合わせもご利用いただけます。FAX番号: 048-288-0955
- 1 ヘルプデスク担当者より、ご返答させていただきます。
※土曜日、日曜日、祝日はお休みをいただいております。
- 1 ご回答は休日明けの営業日以降となりますのでご了承ください。
- 1 また、順番にお受けしておりますが、ご回答までに3~5営業日程度頂いておりますので、ご了承ください

ヨーロッパ
太平洋地区
中国
ドイツ
アメリカ
日本

Email: Support@AOpen.NL
<http://www.aopen.com.tw>
<http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>
<http://www.aopen.de/tech/default.htm>
<http://usa.aopen.com>
<http://aopen.jp/tech/index.html>

オンラインマニュアル: マニュアルをダウンロードするには、まずログインし、言語を選択します。“Type” のディレクトリから “Manuals” を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよび簡単インストールガイドは AOpen のポータルサイトにも収録されています。
<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート: PC 組み立てには、互換性テストレポートから board/card/device の部分をご覧ください。システムが正常であることを確認してください。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。
<http://english.aopen.com.tw/tech/report/default.htm>

FAQ: ユーザーがよく直面する問題や FAQ (よく尋ねられる質問) が列挙されています。ログインし、言語を選択してから問題の解決方法をご覧ください。
<http://club.aopen.com.tw/faq/>

ソフトウェアのダウンロード: ログインして言語を選択してから、“Type” のディレクトリからアップデートされた最新の BIOS/utility およびドライバをダウンロードできます。大半の場合、最新のバージョンのドライバや BIOS により、バグや互換性の問題が解決されます。
<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum: AOpen eForum は当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられていたり、回答を得られます。ログインしてから、“Multi-language” から言語を選択します。
<http://club.aopen.com.tw/forum>

当社へのご連絡: ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOS バージョンも大変参考になります。

代理店や販売店へのご連絡: 当社は製品を販売店およびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設計に熟知しており、問題の解決方法または重要な参考情報を提供できます。